



雇用就農

園芸

石川県金沢市

沖野 大樹 さん (石川県出身)

今回は就農4年目、源助だいこんや加賀太きゅうりなどを栽培している沖野さんに話をお聞きしました。

就農のきっかけ

- 学生時代など就農する前の農業との関りについて教えてくださいませんか。

祖父が長芋や花きの栽培を行っていたので、小さいころからその手伝いをしていました。純粹に体を動かすことや、自然の中で過ごすことも好きでしたし、手伝うとお小遣いがもらえることもあり、大学生くらいまでは祖父の手伝いをしていました。

大学進学の際は動物が好きだったことから、動物のことが勉強できる石川県内の大学に進学しました。大学は農学系の大学だったため、動物のこと以外にも農業や植物関係を勉強する機会が多くありました。振り返って考えると、幼い時から農業が身近にあったのかもしれない。

- 大学卒業後はどのようなお仕事をされていたのでしょうか。

大学卒業後は、石川県内の農業の卸売会社に就職しました。主にゴルフ場などに農業を卸売りする会社で、営業担当として5年ほど勤めました。

- お仕事をされていく中で、転機となるようなことがあったのでしょうか。

仕事を続けていく中で、ある程度自分でもできることが増えてきたときに、漠然と「今後自分はどうなっていくのかな。どうすることがしたいのかな。」と考えるようになりました。そのタイミングでたまたま青年海外協力隊のチラシを見かけて、自分の中で「これだ！」と思いました。しかも、見かけたのが締切りの前日だったので「これでダメだったら今の仕事を頑張ろう。」と思って1日で応募書類を書き上げ、無事に合格することができました。

- 運命的な出会いがあったんですね。青年海外協力隊ではどのようなことをされていたのでしょうか。

「野菜栽培」という職種で合格後、パプアニューギニアへ派遣されることになりました。現地の職業訓練所のようなところで野菜の栽培方法などを伝えました。現地では日本と違い、野菜は「栽培するもの」ではなく「自生しているものを採取するもの」という感覚だったので、文化の違いも踏まえながら伝えていきました。あくまで現地の文化を大切にしつつ、教えた人たちが自分たちで稼げるような手伝いをしていました。

- とても素晴らしいご経験ですね。そこからどのような形で現在の法人へ就職されたのでしょうか。

元々、青年海外協力隊の期間が2年間と決まっていたので、2年間の活動後に石川県に帰ってきました。帰国後の予定は決めていなかったのですが、たまたま知り合いから「地域の人が出資して農業法人を設立するという話があり、従業員を探している。やってみないか。」と声をかけてもらいました。そこで今の会社に就農しました。



就農先と就農後のこと

就農先の農業法人について

- 現在は「金沢アグリプライド」という法人にお勤めですが、会社自体はどのような経緯で設立されたのでしょうか。

もともと10年ほど前から、地域全体として「高齢化」や「後継者不足」が深刻な問題となっていて農地をどのように守っていくかが課題となっていました。当初は新規就農者を募集して空いている農地で就農してもらっていたそうなのですが、地域の方と新規就農者との意見が合わないことが、度々発生するようになってしまったそうです。例えば、雑草の処理です。地域の人としては、雑草を放置しておくで後々農作物に影響が出るから、きれいな状態にしてほしいと思っているのですが、新規就農者にはなかなか理解されず雑草の処理がされていない状況でした。そのような経験から、地域の中で「地域の農家で出資して、新規就農者を育てていくと良いのではないか」という話になり、4年前に設立して現在の形態に至ったと聞いています。設立にあたっては、石川県や金沢市、JA金沢市などに協力をいただきながら設立したそうです。

- 地域のみなさんの思いを「会社」という形にされたのですね。現在はどのような形で運営されているのでしょうか。

現在でも、月に1回定例会を行いながら、自分の課題を共有したり、出資者である地域の農家さんの考えを共有したりする場を設けながら作業を行っています。

また、作業が大変な時には今でも出資者のみなさんに手伝っていただくこともあります。出資者のみなさんは、自分でも農地を持っていて農作業を行っているのですが、収穫が大変な時期などは手伝ってくれて、とても助かっています。

地域での研修、そして雇用就農へ

- 沖野さんの場合は、経験が豊富だと思うのですが、雇用就農される前に研修施設などで研修をされたのでしょうか。

研修施設には通わなかったのですが、地域の農家さんの下で1年間研修を行いました。過去に新規就農者を呼び込んだ時に、考え方の違いなどから辞めてしまったという経験も踏まえて、出資者のみなさんがお互いのために準備期間を設けてくれたんだと思います。出資者は地域の12件の農家さんですが、すべての農家さんで研修させていただきました。

同じ地域で同じ野菜を育てていても、農家さんごとに栽培方法が少しずつ違います。自分に合った栽培方法を見つけることができたので、とても良い研修期間でした。また、この地域では、どの時期に、どのような作物を育てているのか、という地域性も知ることができたのも、とても良い経験になりました。

- 研修中に苦労されたことなどはありますか。

ほとんど無かったですね。研修前は、農家の人は怖い人が多いと思っていたのですが、みなさん優しい方ばかりでした。特に、自分自身が海外に行っていたので、言葉が通じるだけでもとても助かりました(笑)。

就農後のこと

- 1年目のことを教えてください。

1年目は基本的に一人で営農していたのですが、一番苦労したことは作業スケジュールですね。研修期間中に1年の大まかな流れは把握したつもりだったのですが、実際に一人でやってみると思っていたような時間で進めることができなくて苦労しました。1月に年間の作業スケジュールを組んだのですが、なかなかその通りに作業が進みませんでした。その時は、出資者さんに相談して手伝ってもらうなどして、なんとか乗り切ることができました。出資者のみなさんもお忙しい時期だったと思うのですが手伝ってくれて、感謝しています。また、雇用就農なので私自身の休みも取らなければいけなかったのですが、その時も出資者のみなさんが交代で農作業を行ってくれました。

また、1年目の後半からはアルバイトの雇用も行いました。農協さんの農福連携や無料職業紹介所なども利用して、雇用する人を探しました。



- 不慣れなことも多く大変だったと思います。2年目以降はどうだったのでしょうか。

2年目以降は、前年の経験を活かして耕作する作物を少しずつ修正しました。前年と同じことをしていても売り上げは伸びないので、耕作面積を増やしたり取り扱う品目を変えたりしながら取り組みました。人員面では、2年目は1月からパートさんを雇っていたのですが、シフト面の調整で苦労しましたね。仕方のないことではあるんですが、3人で作業を予定していたものを急遽2人でやることになったなど、そのあたりの調整や作業予定の組み方などが、2年目に新たに直面した悩みですね。作業が遅れても野菜の成長は待ってくれないので、遅れが積み重なってしまうところが苦労しました。

- 現在は正社員がもう1名いるとお聞きしたのですが、いつごろから2名体制になったのでしょうか。

2022年(設立3年目)から正社員がもう一人増えました。2名体制になったことで、体力的にも精神的にもだいぶ楽になりました。当初の予定では、設立から5年目に社員を2名にする計画だったのですが、売上が順調に推移したこともあり、少し前倒して雇用することになりました。

- とても素晴らしい流れだと思っています。ちなみに、売上が順調に推移している要因などはあるのでしょうか。

個人的には、安定して良い品質のものを作れているということが大きいと思っています。会社設立の経緯から、今でも定期的に出資者の農家さんが指導してくれています。自分ひとりだけでは気づかないようなことも指摘してくれるので、そのおかげで良い品質のものを作ることができ、それが喜ばれていると思っています。

また、農協さんや地域の部会のおかげもあって安定した販路を確保できていることも大きな要因だと思っています。

- 反対に、最近課題と考えていることはあるのでしょうか。

最近の課題は、自分自身の技術を伸ばしていくことですね。今育てている野菜の収量をもっと伸ばせると思っているので、それに向けて育成技術を磨いていきたいと思っています。特に最近は、計画よりも前倒して目標が達成できている分、足元を固める意味でも技術面の向上が必要だと思っています。

就農してから今まで、地域のみなさんに育ててもらったと思っています。今後は会社を大きくしていくことが、会社や地域への恩返しになると考えているので、それに向かって頑張っていきたいと思っています。



就農希望者へのメッセージ

- 就農希望者へのメッセージやアドバイスをお願いします。

今年、加賀太きゅうりで優良生産者に選ばれることができました。これは、地域のみなさんから栽培方法を広く教えてもらったことが要因だと思っていて、地域全体で選ばれることができたものだと思っています。

個人的に農業の楽しさは、「自分の頑張りが結果に直結するところ」や「結果が目に見えること」だと思っています。自分が一から手をかけて育てた作物が、立派に育った姿を見た時の感動は、何物にも変えられません。その分、農業は難しいことや大変なことも多い職業ですが、やりがいも大きい面白い仕事だと思います。

迷っている人にはぜひ挑戦してみてほしいなと思っています。

